図6・9　IT産業サービス化の流れ、シナリオ＠2000年

Copy right & Editorial copy right reserved by Kiyonoro Konishi, 2000.8.19

1998年　1999年　2000年　2001年　2002年　2003年

PC中心時代の終焉へ
終わりの始まり、…

97年にPCはインターネットアクセシブル・イメージの分野を支配し、全国で10倍ほどたった機のデバイス（NPC）をこのためだけ（ほぼ）

ネット人口

1999/11/17米ネット人口、1億人突破・民間調査

【ニューヨーク＝藤田直美】全米調査連盟をネットサテライツ・グループとともに、米国のネット人口（99年11月現在）が人口の36.2%（2億人）を突破した、米国内の調査によればパソコンを所有するというわれわれ、その過半数がネットユーザーが家庭にも、調査会社ミニアマリカのジュニム・ブ氏は「今後は携帯情報端末（PDA）や携帯電話を使う新しいネットユーザーが急増すると見ている。

PC出荷台数

99年のPC出荷台数は前年比20%の増加
・世界で1億1,350万台
・米国内で3,514,380万台
・日本で

ここにおいて重要なのは、ウィンドウズ（ポータブルPCとは、ビジネスにおけるPCの、99年末を境にいっせいに、ポータブルPCの時代を迎えたことである。ポータブルPCの時代とは、ビジネスにおいて、ネットワークを通じてデータベースにアクセスし、ビジネスを進めていくプロセスの（いわゆるeBiz化機プロセッサ）である。

インターネット、アクセスデバイスはどう変化するか？

●インターネット利用の急拡大を背景に、2002年のインターネットアクセシブルデバイスの出荷台数は、97年の倍近くになる。

●その推移（9ページ）は、新しいタイプのインターネットアクセシブルデバイスが利用されにくいことがうかがわれる。

●インターネット対応機器は、2001年から2003年までにPCの出荷台数を上回ったと思われる。PCの出荷台数は伸び悩むであろう。新しいアクセシブルデバイスに急速にシェアを奪われるとみられる。

●PCベンダーは、ソフト、ハンドポート、周辺機器などPC市場に関係しているベンダーは、インターネット対応機器の市場モデルに進入するための戦略を策定する要があり、99年の後半ならまだ春の可能に間に合いやんとされたれるが。

PDAや携帯を使う新しいネットユーザの増加

MSの戦略

PC市場にはわゆるキ・ベンダーのほかに、ウィンドウズ以外、インターネットアクセシブルデバイス市場におけるシフトに最も注目を集めているように思える。しかし、ウィンドウズ以外によって最大の問題は、Windows版の開発コストである。インターネット対応機器は、ウィンドウズ以外の戦略を組めることができるかに。

PCベンダーの対応

一般に、インターネット対応機器市場に対するPCベンダーの様子はあまり高くない。

A.年のPCベンダーは、PC事業におけるE.B.Bの戦略の軸をPC事業に置いている。PC事業には、低価格PC事業での利益の確保、チャネル・ユーザーを開拓するなかCMoA上での新市場を開拓する方法の確立、サーバー事業の拡大などがある。

インテルの戦略

ウィンドウズとは別種、インテルも、自社が強みを持つPCの市場は、同社の場合はPentiumがP機能的なインターネット対応機器へと変化しようとしている。

即ち、通信関連企業の育成を情熱的に進めている。

ゲームマシン

PDA

市場に対するビジョンを広げず、拡大する市場で競争するための投資リスクを恐れないベンダーは、高成長の機会を失うだろう。

携帯電話

新しいチップメーカ？

情報家電

新しいＯＳベンダー

市場に対するビジョンは？

ベンダーは、従来のPCの事業との関連でのみ市場をとらえるだけでは、不十分であることを認識する必要がある。PC中心時代は終まり同じ定ったまつつあり、今後成功を収めるには、ベンダーは市場に対するビジョンを広げ、新新する必要がある。

MAP－

５０％が非ＰＣディバイスになる

2002年までに、これらの非PCデバイスがインターネット アクセス デバイスの出荷台数の約50%を占め、PCの市場シェアを急激に浸食すると予測

【表1】米国でのPCとインターネット対応機器の出荷動向予測
（1997～2002年）
単位：1,000台

	PC	インターネット対応機器	合計	インターネット対応機器の割合
1997	31,478	1,433	32,911	4%
1998	36,323	3,634	39,957	9%
1999	41,576	8,330	49,906	17%
2000	46,397	16,589	62,986	26%
2001	51,139	26,439	77,578	34%
2002	55,990	41,286(e)	97,276	43%
1997～2002				
平均年間				
成長率	12.2%	96.3%	24.3%	----

*推計(出典:IDC US, 1998)

●パーペイシブ ･コンピューティングの進展

●Ｂ２Ｂ、Ｂ２Ｃ、･･･、あらゆるサービス

マイクロソフト、司法省の独占禁止法裁判の影

Ｌｉｎｕｘなど本格化するオープンソース、フリーソフトの波

米マシーマイカンシステムズのモビュー・ントーネット・ソフトウェアは、ハンドヘルドパソコン向けの新世代「ウィンドウズCE」の普及を受け事業開始を宣言する。これまでも国内官公庁向け事業を実施してきたGOAL社が開発を組織化し、ネットクロッパ（小規模ホストプロトタイプ）と開発キットを開発する。

ＩＴ産業、サービス化の流れ
ＡＳＰを中心にして、

ＭＡＰ－

プラットフォーム製品のコモディティ化と低価格化

ＩＴベンダーにとって新しい市場の開拓のニーズ

上位製品へシフト

サービスへシフト

コアコンピタンス経営

ビジネスサービス アウトソーシングの普及

ＡＳＰへの期待

アプリケーションで勝負する時代へ

物売りからサービスへ

アウトソーシングのニーズ

ＩＴ所有の論理からサービスの購入へ

ＴＣＯ圧縮

テレコムからの参入

ハードベンダーのＡＳＰ支援策

ＡＳＰ（アプリケーション サービス プロバイダー）の出現

米国におけるドットコム企業へのＡＳＰ普及

クロス インダストリ・アプリのＡＳＰの試み

雨後の筍のように多くのＡＳＰの試み

応用分野毎の個別シナリオ

Vertical application ＡＳＰの進展

伝統的な産業分野でのＡＳＰ

ＡＳＰブームの一時沈静化

日本流ＡＳＰモデルの模索から確立へ

あるいは本国モデルに準拠される？

ＡＳＰとＩＤＣの関係が密接してインフラを単でネットビジネスが加速される

データセンタを舞台にＡＳＰが発展

データセンタ淘汰の時代へ

乱立するデータセンタ

米国ではデータセンタ間を高速専用線で接続する新構想が形成される

ソフトベンダーばかりではなくシステム プロバイダー事業へのインパクト

ＡＳＰがＩＳ（ビジネス）を吸収し始める

ＱｏＳ、ＳＬＡ

Ｗｅｂベース ＡＳＰとサーバーベースト ＡＳＰの並存

ＡＳＰを支えるH/W、S/Wコンポーネントベンダーの活性化

パッケージソフト、99年は1兆3400億円市場に

誰が抜け出して来るのか？

テレコム

メインフレーマー

ソフト製品ベンダー

業界の棲み分けの論理が変化

ＳＩｅｒ

ソフトハウス

総合電機

コンテンツビジネスの世界から誰がここに来るのか？

どの応用分野から始まるのか？

アプリケーション サービス ビジネスとコンテンツビジネスの融合

ASP国内市場
プライトトーマツ・コンサルティングの予測

2000年	38億円
2001年	110億円
2002年	327億円
2003年	990億円
2004年	3054億円

2000/08/27 世界ASP市場、2004年には国内シェア・データクエスト調べ

電算が企業ＩＴをアプリケーション（応用）ソフトウェアをネット経由で開発し、ネットワークコンピュータ（ＮＣ）やパソコンなどの端末に提供する。ＡＳＰは、ハイアウ調査会社データクエスト調べによると、世界のＡＳＰ市場は今年で数百億ドルから2004年には3兆円へと拡大する見通し。

データクエストによると今年のＡＳＰ市場は3億ドルと推定。規模は、地域別では北米が最大市場の約6割を占めるが、今後は欧州やアジア諸国でＡＳＰの利用が拡大するとみられ、2004年には北米の比率は45%にまで低下する模様だ。地域ごとの業界業態の多様さを考慮していくことになり、特に「ロビンとの関係でＡＳＰ国産のアプリケーション・開発が急増すると予想している。（シンクレー一郎氏を取

（日経産業新聞　8月15日）

IDC調査:ハイエンドアプリ・サービス市場、2003年までに20億ドル規模に

IDC調査:世界のアウトソーシング市場、2003年までに1,510億ドルに

Copyright reserved by Knowledge Produce Inc., 2000